
魔法少女リリカルなのは もしなのはに最強形のチートを持つた外道が憑依したら・・・・・・・・

リベリオン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのは もしなのはに最強形のチートを持った外道が憑依したら・・・

【Nコード】

N6907Z

【作者名】

リベリオン

【あらすじ】

もしなのはに最強形のチートを持った者が憑依したら・・・
と考えていたら思いついたモノです。原作ブレイク、キャラ崩壊、最強形、外道、他の転生者（かませ犬）とゆう要素があります。

やじつやひ転生できるらしい……チートもくねるらしい……なら遠慮なくいただ

この作品は妄想の産物です。

どうやら転生できるらしい……チートもくれるらしい……なら遠慮なくいただい

俺は死んだ。

こんな始まり方ですまないと思うが本当に死んだんだ。

死因は餓死……

一般人で平凡な俺が何で餓死なんてしたと思う？普通は餓死なんてしないだろ？でもしちゃったんだよ。

ちょっと回想でみてみよう……

—————回想

俺はついこの間をきた地震のせいで家具が倒れた。

そしてその家具の倒れたところには魔法少女リリカルなのはのDVDがあった。

そしてディスクは砕け散った。

翌日……

俺は砕け散ってしまった魔法少女リリカルなのはのDVDを買いなおすために銀行にお金を下ろしに行った。

そしてATMでお金を下ろしてるといきなりマスクをかぶった男達が銃を持って銀行に入ってきた。そして…

パーン

いきなり俺の脚を撃ってきた。

俺は痛みで気を失った。

次に目が覚めた時はどっかの倉庫だった。体は鎖とロープで柱にくくりつけられている用だ。

なぜここにいるのか理解できない俺は近くにいた銀行強盗に聞いてみた。

銀行強盗曰く、あの後、すぐに警察がきて銀行強盗達は逃げ出そうとしたらしい。その時に人質として俺が選ばれて連れてこられたらしい。

そうして銀行強盗達は倉庫から出て行った。そして俺はそのまま誰にも気づかれぬまま餓死した。

—————回想終了

こうして俺は死んでしまい、今は天国に行く最中です。火の玉状態ですが……

「なかなか運が無い死に方じゃな。」

なんだ？声が頭の中に響いている！……まあ火の玉状態なので頭がどこなのかわかりませんが……

「わしは最高神ゼウス！お前達人間が言うところの神じゃ。」

神？なんで神が俺に話しかけてくる？大体なんで俺は心で話してるんだ？

「それは気にしたら負けじゃ。」

ところで、まさかよくSSである神のミスで死んじゃった。ってやつか？

「いやただ珍しい死に方をした人間がいたから見に来ただけじゃ。」

同情するなら金をくって違う違う………同情するなら命をくれ！！

！！！！！！

「お主は家なき子か！」

いや、命なき子です。

「お主、なかなか面白いことを言うの。」

今のは面白いのか？

「ふむ。なかなか面白いことを言った褒美としてお主に新しい命をやるぞ。」

え！マジすつか！

「うむ。マジじゃ。」

アニメや漫画や小説の世界でも……

「OKじゃ。」

チート能力は？

「問題ない。どんなことでもやってやろう。」

なら転生する世界は魔法少女リリカルなのはの世界でお願いします。

「わかった。一応、平行世界にしておくから何をしてもいいぞ。」

6

あざーす。じゃあ次の能力は……とりあえず『ザ・ワールド』も
らえます？

「いきなりチート能力じゃの。たが問題ない。わしからサービスで
時間を止めていられる時間は無限にしてやろう。」

ちよWマジですか！

「やるなら徹底的にじゃ。」

さすが神様！じゃあ遠慮なく行かせてもらっせ。まず……

『アルファ・ステイグマ複写眼』が欲しい。ああ、一応何でも解析できるようにして欲し

い。

「了解じゃ。これもサービスで暴走はしないようにしてやるう。」

次は『万華鏡写輪眼』が欲しい。天照や須佐能乎はいらないからコピーする事に特化してほしい。でも月読は絶対にくれ。

あと視力は何をしても失わないようにして。

「了解じゃ。それじゃあサービスでイザナギを使えるようにしてデメリットは無しにしてやるう。」

それって絶対倒せないよな………えっと次は刀語りの七実の『見稽古』をくれ。

「わかったのじゃ。一応、どれだけ全力を出しても体が壊れないようにしてやるう。」

サンキューつと次はニードレスの『ホジティブフイードバック・ゼロPF・ZERO』をくれ。

「わかったのじゃ。サービスは全てのフラグメントを覚えてる。でよいじゃろ。」

完璧です。じゃあ次は『スキルジ・エンド能力完成』をくれ。

「任せておけ。今回のサービスは…。」

今まで言った能力を全部同時に使えるようにして欲しい。

「ん？どうゆう事じゃ？」

まず『アルファ・ステイグマ複写眼』で相手の技や魔法を解析。そして『ボジティブフライドバック・ゼロ万華鏡写輪眼』と『スキルジ・エンド見稽古』で解析した技や魔法をコピーする。『PF・ZEROPF・ZERO』でコピーした技や魔法を増大して強化する。そして、『能力完成能力完成』で完全に相手の技や魔法を強化したモノを完成させる。

「お主……なかなか面白い事を考えるの。」

それで、できるの？

「問題ないぞ。」

じゃあよろしく。あとはあらゆるエネルギーを使えるようにしてほしい。

「たとえばどんなのじゃ？」

とりあえずリンカーコアの魔力とネギま！の魔力。 Fate / stay nightの魔力、ゼロの使い魔の精神力、 NARUTOのチャクラ、気、霊力、妖力、神力、生命力、とかだね。

「了解した。一応ほかの世界の能力も使えるようにしておこう。」

あとは……ゲート・オブ・バビロン収納用に『ゲート・オブ・バビロン王の財宝』、それと『アンリミテッドブレイドワークス無限の剣製』も頂戴。

「了解じゃ。『ゲート・オブ・バビロン王の財宝』の方には全ての宝具の原型と全てのロス
トログアの原型を入れておこう。『アンリミテッドブレイドワークス無限の剣製』には別の世界の剣も入れておくぞ。あと両方とも指を鳴らすだけで出てくるようにしておいたぞ。」

了解―あと人としての限界を突破できるようにして。あとは全ての才能をちょうだい。あと多重思考も。

「わかった。能力は元から人外まで上げておくぞ、お前さんだけではさらに上までいけるようにしてあるぞ。あと才能は『見稽古』とは別にしておいたから七実の才能＋全ての才能＋元から持つ才能にしておいた。多重思考はざっと50ぐらいは使えるようにしておいた。お前さんではさらに増えるぞ。」

あい。

「もうないのか？」

これだけあれば十分だろ。

「そうじゃな。また何か必要になったら言ってこい。3つだけなら叶えてやる。」

サンキューじゃあ飛ばしてくれ。

「転生先は海鳴市でいいよな」

おう。問題ないぜ。

「では、行ってこい。」

そして俺は行き成り眠気に襲われて意識をてばなした。

そして次に目が覚めたらそこは知らない天井が視界に入った。

「あつあつあつあつあつ……」（知らない天井だ……）

on言えなかった。どうやら赤ちゃんになったみたいだ。

今は夜らしく人の気配はしない。

情報を集めるのは朝になってからだな……

とりあえずすることが無い俺は自分の中にあるリンカーコアやネギま！の魔力。 Fate/stay nightの魔力、ゼロの使い魔の精神力、NARUTOのチャクラ、気、霊力、妖力、神力、生命力、の確認をして時間をつぶした。

やじつやら転生できるらしい……チートもくねるらしい……なら遠慮なくいただ

感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6907z/>

魔法少女リリカルなのは もしなのはに最強形のチートを持った外道が憑依した

2011年12月23日02時55分発行